

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター 肝胆膵外科では、以前に「肝細胞癌患者に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における探索的血清サイトカイン解析—多施設共同前向き観察研究—」および「切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除 を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第Ⅱ相臨床研究, 付随研究：治療効果および有害事象予測のバイオマーカーの探索」のご協力者からいただいた診療情報等を使って、下記の研究課題を新たに実施しています。

この新たな研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

[研究課題名] 肝細胞癌に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の臨床的および免疫学的転帰に関する統合後ろ向き解析研究

Integrated retrospective analysis of clinical and immunologic outcomes in hepatocellular carcinoma treated with atezolizumab plus bevacizumab

[研究対象者]

2021年9月から2026年3月に実施された「肝細胞癌患者に対するアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法における探索的血清サイトカイン解析—多施設共同前向き観察研究—」または2021年11月から2026年9月終了予定の「切除不能肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法、外科的切除 を用いた集学的治療の安全性、有効性を検討する多施設共同第Ⅱ相臨床研究, 付随研究：治療効果および有害事象予測のバイオマーカーの探索」（研究責任診療科：国立国際医療センター 肝胆膵外科、研究責任者：三原史規 医師）への協力にご同意いただいている方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、身長・体重、全身状態、既往歴、合併症、肝機能に関する情報、腫瘍の診断および病期、背景肝疾患（B型肝炎・C型肝炎の有無など）、血液検査結果（血算、生化学、腫瘍マーカー、内分泌検査、バイオマーカー等）、画像検査結果（CT、MRI等）、臨床症状、治療内容（アテゾリズマブ+ベバシズマブ併用療法の投与状況）、治療経過、副作用、予後に関する情報

[利用の目的] （遺伝子解析研究：無）

治療前後のバイオマーカーおよび臨床因子と予後（治療後の経過）との関連について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2029年3月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 肝胆膵外科 医師 中村真衣

研究内容の問い合わせ担当者：国立健康危機管理研究機構 肝胆膵外科 中村真衣

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～17時）

作成日： 2026 年 7 月 3 日

第 1.2 版